

## Section / 6

### 気候になじむ、 あおもりの 木の家

長い年月をかけて青森で育った木は、地元の気候風土によくなじみます。だからこそ、建物に使用され、私たちの生活を彩ってくれるのです。また、地元の木材を家づくりに使うことで、適切な森林環境を守ることができます。そして、木材の輸送に伴うCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)の排出を減らすことができ、SDGs(持続可能な開発目標)の取り組みにもつながるのです。



## Section / 7

### 冬暖かく、 夏は涼しい木の家

木は、成長するために根から水を吸い上げる管を持っています。木を伐った後、乾燥させることで、この管から水分が抜けて空気の層となり、断熱性や調湿性が高まります。

そのため無垢材の床は、空調機器で暖められた空気をたっぷり含み、真冬に素足で歩いても冷たさを感じません。特にスギは他樹種と比較して空気を含む量が多く、床材として高い人気があります。一方、湿度が高くジメジメとする夏は、木が湿気を吸って室内の湿度を一定に保とうとするため、カラッとした室内環境で快適に過ごすことができます。

## Section / 8

### 木の家と耐震性

木材の性質を生かし、高い耐震性を備えた住宅を建てることができます。実は鉄と比べて、木は強度が高いのです。木と鉄の比強度(同じ重さに対する強さ)は、木は引っ張りが約4倍、圧縮(押し力)は約2倍です。また、地震で建物に加わるエネルギーは、重さに比例して大きくなります。そのため鉄と比べて軽い木材は、地震発生時の揺れが比較的小さく済みます。



## Section / 9

### 自然が香る家

住む人にやすらぎを与えてくれる木の香り。これは、スギやヒバなどの針葉樹が自身を守るために発する精油成分「フィトンチッド」によるものです。木は、伐採されて住宅となった後も、空気中の水分を吸ったり吐いたりしています。そのため、長い年月にわたり爽やかな香りが家全体を包み込み、人々の生活に優しく寄り添ってくれるのです。



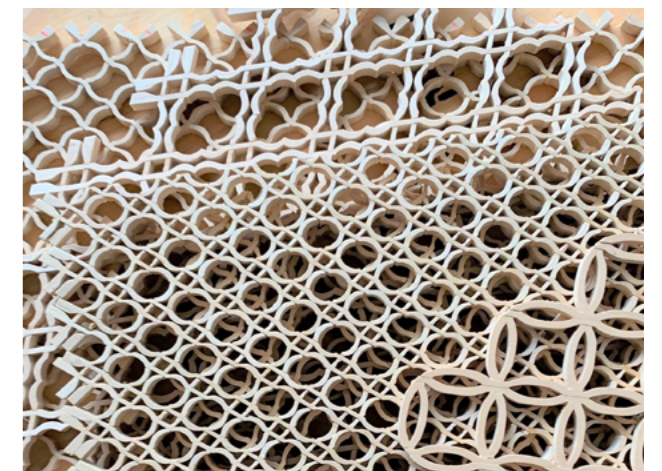
## Section / 10

### こんなところにも青森の木



### 日本一長い三連太鼓橋 鶴の舞橋

鶴田町の津軽富士見湖には、青森ヒバで作られた、日本一長い三連太鼓橋「鶴の舞橋」が架かっています。岩木山を背にゆるやかなアーチを描く全長300メートルの橋は、鶴が空に舞う姿に見えるとも言われ、多くの人々に愛されています。



### 伝統工芸品 南部花形組子

青森ヒバの木片を曲線的に加工し、手作業で美しい模様を描く「南部花形組子」は、県南地方の伝統工芸品。和風の建具だけではなく、電気スタンドやティッシュボックス、スマートフォン台などもあり、生活に彩りを添えてくれます。